



埼玉県議会議員

# 岡地まさる 県政報告

## 信頼と責任

2022年 春号

岡地まさる県政事務所

桶川事務所

桶川市上日出谷42-73

TEL.048(780)2982

FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

国道17号

# 坂田交差点 右折帯延伸 工事完了!!



▲右折帯の延長は30mから60mと倍になり、右折車がはみ出す心配はなくなりました。

圏央道が開通してから、国道17号を利用し北本方面へ向かう車両の台数が増え、坂田交差点では朝夕の交通量の多い時間帯は右折帯をはみ出し渋滞となっていました。そのため、桶川市をはじめ地元の方々、多くの市民の方々から右折帯の延伸を求める声をいただき、私も県議会の一般質問で取り上げたり、北本県土整備事務所に出向き、交差点の改良を重ねてお願いしてまいりました。当初は3月末頃の完成予定でしたが、工事中も早期完成の要請を重ね、予定よりも早い完成となりました。



▲右折帯延長工事中の現場を小野市長とともに視察したときの様子。一日も早い完成をお願いしました。(右から私、その隣が小野市長)



坂田交番前交差点に右折信号機設置

◀圏央道桶川加納ICを川越方面に向かった1つ目の交差点「坂田交番前交差点(T字路)」に右折信号機が設置されました。

### 第13回太鼓祭を鑑賞



日本一決定戦、第13回太鼓祭がさいたま市文化センターで12月12日に開催されました。新型コロナの影響で2年ぶりの開催でしたが、どのチームも素晴らしい演奏・演技で、見ていて気持ちがスッキリしました。

### 下日出谷東グリーンガーデン・記念公園開園式典に出席



下日出谷東グリーンガーデン並びに下日出谷東記念公園の開園式典が1月16日に開催され出席しました。下日出谷東特定土地区画整理組合も紆余曲折を経ており、ようやくここまで来たかと感無量のものがあると思います。この公園が子どもさんや高齢者の皆さまに使われるような公園になることを期待しております。

### 市レクリエーション協会 創立50周年記念式典開催



桶川市レクリエーション協会は1月13日、桶川市役所にて創立50周年記念式典を開催しました。式典では小野克典市長をはじめ江森市議会議長、岩田教育長にご祝辞をいただくとともに、50周年記念事業として桶川市商工会はじめ市内10団体に感謝状を贈呈しました。

拉致被害者の方々の一日も早い帰国の実現に向け、皆さまのご支援を!!

# 県の通学路整備計画 について

令和4年～令和8年

昨年、千葉県八街市の通学路で起きました児童が犠牲になった痛ましい事故を受けて、県では県内の通学路の一斉点検を行い、この度、緊急対策事業として令和4年～令和8年までの5年間で通学路の危険箇所を整備することとしました。

桶川市内の整備箇所は右表の通りです。



## 通学路整備箇所【交通規制の新設等】

改善要望箇所の所在地	整備内容
下日出谷135-1	横断歩道
川田谷1167-1	横断歩道
川田谷4474	横断歩道
下日出谷943-201	一時停止
川田谷5774	一時停止
上日出谷1319-15	一時停止
坂田959	一時停止
坂田883	標識の更新など
坂田東1-3	横断歩道
末広3-13北	一時停止
朝日1-4-12	一時停止
北2-14-10	その他
西1-5	横断歩道
南1-4-18	横断歩道
北2-12-18	標識の更新など
若宮1-4	横断歩道
川田谷3099の南	標識の更新など

## 桶川市内の主な県事業

令和4年度、地元・桶川市内において予算が確保できました主なインフラ事業です。

### 《県土整備部》 令和4年度当初予算

路線名等	事業名等	事業概要
① 駅東口通り線	街路改良事業	L=278m、W=6.0(20.0)m
② 駅東口通り線	街路整備	L=278m、W=6.0(20.0)m
③ 蓮田鴻巣線(加納)	自転車歩行者道整備	L=600m、W=6.0(12.0)m
④ 太郎右衛門橋(川越栗橋線)	橋りょう修繕	ひび割れ補修、断面修復
⑤ べにばな陸橋(川越栗橋線)	橋りょう修繕	橋脚補強、落橋防止(JR委託)
⑥ 太郎右衛門橋(川越栗橋線)	橋りょう修繕	ひび割れ補修、断面修復
⑦ 川越栗橋線(川田谷)	舗装道整備	舗装修繕(W=13.5m、L=350m)
⑧ 川越栗橋線(下日出谷西)	舗装道整備	舗装修繕(W=13.5m、L=450m)
⑨ 江川	河川改修	調節池整備工、事業損失補償
⑩ 江川	河川事業	調節池整備工



### 県議会2月定例会報告

県政史上最大規模  
《一般会計当初予算》

# 2兆2,284億5,900万円を議決

## 直面する危機からの脱却と日本一暮らしやすい 埼玉に向けた将来像の実現へ

県議会2月定例会は2月17日に開会し、過去最大となる一般会計当初予算2兆2,284億5,900万円等を議決し、3月25日に閉会しました。

「直面する危機からの脱却」と「日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現」の2つを柱に掲げた当初予算は、最も重要な課題として新型コロナ対策として約1,845.5億円が計上され、ワクチン接種医療機関への支援をはじめ高齢者施設などのクラスター対策の強化などが盛り込まれました。またウィズコロナの下、その有用性が高まっているデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進についても、県庁のDX化を進めるために約31.8億円、中小企業のDX化支援に約1.8億円、キャッシュレス決済の導入を進める商店街支援に約1.4億円などが計上されました。

新型コロナウイルス感染症の長期化にともない県の財政は厳しい状況が続きますが、県民の安心・安全の確保を最優先に、人々の生活と健康、地域経済を守るために全力で取り組んでいく所存です。



県議会副議長として議事を進行する。

## 引きこもり 自立支援条例 を提案・制定

私たち自民党県議団は2月定例会において「引きこもり自立支援条例」を提案し、制定しました。

ひきこもり状態にある方は、自身の将来をはじめとする様々な不安を抱えており、これはその家族も同様です。しかしながら、身近に支援を受けることのできる場所がなく孤立しているケースも多く見受けられます。ひきこもりの支援は、本人の意思を無視してはいけません。そして、本人及びその家族が孤立することのないよう、身近に安心して支援を受けることのできる環境を整備することが必要だと私たちは考えています。



## 岡地まさる 県政事務所

〒363-0026 埼玉県桶川市上日出谷42-73  
Tel. 048-780-2982 / Fax. 048-780-2983

ポスティング作業など、お手伝いいただける方を募集しています。詳しくは岡地まさる県政事務所へお問い合わせください。



埼玉県議会議員

# 岡地まさる 県政報告

## 信頼と責任

2022年 夏号

岡地まさる県政事務所  
桶川事務所  
桶川市上日出谷42-73  
TEL.048(780)2982  
FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

県議会6月定例会報告

## 原油価格・物価高騰に対する 経済支援 として

### 補正予算 第1号・第2号 27億4,975万1千円

県議会6月定例会は6月17日から7月7日にかけて開催され、一般会計補正予算【第1号・第2号】あわせて27億4,975万1千円を議決しました。

補正予算の主な内容は、ウクライナ情勢や円安の影響を受けている生活者や事業者を支援するため、国による「コロナ禍における『原油価格・物価高騰等総合緊急対策』」に基づくもので、県として緊急に対すべき事業として生活者への支援（5億495万6千円）と事業者に対する支援（9億6,932万9千円）が大きな柱となっています。また、当面緊急に対すべき事業に加え、脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備投資を促進するための予算（11億3,056万6千円）が盛り込まれました。

### 降ひょう被害への 緊急対策として 補正予算 第3号 8億7,450万8千円

6月2日および3日の降ひょうは県内において大きな被害を及ぼしました。私たち自民党県議団は6月6日、いち早く大野知事に緊急対策を求める要望書を提出し支援に取り組んでまいりました。

6月定例会では緊急対策として補正予算【第3号】8億7,450万8千円を議決。被害の大きい11市7町を農業災害対策特別措置条例に基づく「特別災害」に指定するとともに、指定されなかった4市についても実質無利子で融資が受けられる「農業近代化資金」の対象となることが決まりました。さらに、被害を受けた農業施設の修繕や苗などの購入費を補助する予算も盛り込まれました。私たち自民党県議団は地域の経済と人々の生活を守るため、今後も全力で働く所存です。



所属委員会 環境農林委員会  
自然再生・循環社会対策特別委員会（委員長）  
図書室委員会

## 原油価格・物価高騰の影響を受ける生活者・事業者に対する緊急支援

### 学校給食等の物価高騰に直面する保護者等への支援 9,406万5千円

**概要**  
学校給食等の食材価格高騰に直面する保護者等の負担増加の回避のため、当面の間、**食材価格高騰相当額を補助**する。

**対象校**  
県内で学校給食等を実施している以下の学校  
 > 県立の中学校・夜間定時制高校・特別支援学校  
 > 私立の小学校・中学校・特別支援学校

**補助内容**  
学校給食等の食材価格高騰相当額を学校に対し補助（15%を目安）  
 <各校の給食費>  
 (例)一食あたり 300円→345円 (高騰した場合)  
 保護者負担(変更なし) 保護者負担(300円) 各業者へ支払い

### 夏休み期間の子供の食事等を確保するための支援 8,137万3千円

**概要**  
子供の居場所等の活動支援を通じて、夏休み期間に限り、子供の食事等を確保するため、**食品や学用品を子供に提供する**。

**内容**  
 提供品を用意  
 ・食品  
 ・レトルトカレー  
 ・バックご飯 など  
 子供の居場所等へ  
 ・提供品を利用して  
 子供とのつながりを  
 継続  
 子供たちの手元へ  
 ・食事機会の増  
 ・子供の見守り  
 機会の増

子ども食堂 フードパントリー 学習教室

県内企業と協力・連携

### 県内地域公共交通事業者への支援 4億2,880万円

**概要**  
県内の乗合バス及びタクシー事業者の運行継続を支援するため、**燃料費高騰の影響分を補助**する。

**補助対象等**  
 > 補助対象: 乗合バス 2,400台 タクシー 5,900台  
 > 対象期間: 令和4年4月から9月まで

### 県内観光関連事業者（貸切バス・旅行事業者）への支援 2億9,306万5千円

**貸切バス事業者に対する経営支援**  
 > 補助対象: 貸切バス 1,800台  
 > 補助額: 15万円/台

**旅行事業者のバスツアー造成に対する補助**  
 > 補助額: 日帰り 5万円/旅行商品  
 宿泊(県内) 10万円/旅行商品  
 宿泊(県外) 5万円/旅行商品

## 脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備投資の促進

### 県内中小企業等の省エネ・再エネ設備投資への支援 4億 699万9千円(債務負担行為 限度額 5億5,475万円)

**(1) 緊急対策枠の創設による支援強化**  
エネルギー使用量やCO<sub>2</sub>排出量の削減を加速させるため、省エネ・再エネ設備の導入費用を補助する緊急対策枠を創設し、補助率を従来から拡充する。

> 補助上限額: 500万円  
 > 補助率: 1/3・1/4 → 2/3  
 > 申請手続きの簡素化

**(2) エネルギー対策特別の創設による支援強化**  
カーボンニュートラルの実現に向けた県内中小企業等の設備投資を支援するため、設備投資促進資金に「エネルギー対策特別」を創設する。

> 融資枠: 100億円  
 > 融資利率: 0.6~1.0% (利子補給率0.6~0.7%)  
 > 融資限度額: 設備投資資金 1億5,000万円 運転資金 5,000万円

### 住宅の省エネ・再エネ設備投資への支援 2億9,355万7千円

**現行の補助制度の拡充による支援強化**  
エネルギー使用量やCO<sub>2</sub>排出量の削減を加速させるため、既存住宅の蓄電システムの導入等への支援を拡充する。

> 補助件数の拡大 1,932件 → 3,864件  
 > 蓄電システム: 5万円/件 → 10万円/件  
 > エネファーム: 5万円/件 → 10万円/件  
 > 高断熱窓: 補助率1/10・上限5万円 → 補助率1/5・上限10万円

### 県内施設園芸農家の省エネ転換への支援 4億3,001万円

**省エネ機器等の導入支援**  
施設園芸農家に対して、燃料費高騰の影響を受けにくい省エネ機器等の導入経費の1/2を補助する。

> 補助対象: ヒートポンプ、被覆資材等、品種・品目転換のための種苗購入費

### 県内中小企業等の資金繰りへの支援 7,000万円(債務負担行為 限度額 7億円)

**概要**  
原油・原材料価格の高騰に対応するため、経営安定資金(知事指定業種)の緊急融資枠を拡大する。

> 融資枠: 100億円 → 300億円  
 > 融資利率: 0.6~0.8%  
 > 融資限度額: 運転資金 8,000万円

### 県内畜産農家への支援 1億 745万2千円

**概要**  
県内畜産農家の経営支援のため、配合飼料価格のうち飼料メーカーの製造コスト上昇分の一部について補助する。

> 補助額: 配合飼料購入量 500円/トン

拉致被害者の方々の一日も早い帰国の実現に向け、皆さまのご支援を!!

# 桶川市の安全安心と活性化のため 東奔西走

## 江川改修促進協議会総会開催

江川改修促進協議会総会が7月14日、桶川市役所5階全員協議会室にて開催されました。議案は、無事にすべて承認となりましたが、総会後に予定されていた江川調整池の現場視察は、2日前に降った雨の影響で中止となりました。



江川流域一帯においては、令和元年の台風19号による大雨で江川が氾濫し、周辺の住宅地や工業団地では多数の床上、床下浸水などの被害が発生しました。また、主要地方道川越栗橋線が道路冠水のため約47時間の通行止めとなり、市民生活に大きな影響が出たところです。江川調整池の一日も早い完成に向け、今後も全力で取り組んでまいります。



今年度の事業資料。遮水矢板工事、橋りょう架替工事(迂回路工)、送排水管移設工事が行われています。

## 荒川中流部堤防整備現地を視察



中根一幸衆議院議員が5月30日、上尾市から鴻巣市までの荒川中流部の堤防整備計画、並びに事業実施状況について現地視察を行い参加させていただきました。

改修は下流に第2、第3調整池が整備中で6月より排水樋管及び堤防整備のための工事用道路に着手され、令和7年3月の完成予定です。



写真は上尾市平方地区、開平橋上流(ゴルフ場事務所前付近)です。令和元年台風19号の出水により大きな被害が出た箇所です。

## 桶川市グランドゴルフ春季大会開催

桶川市グランドゴルフ協会主催のグランドゴルフ大会が5月6日、3年振りに開催されました。皆さん日頃の練習の成果を発揮しグランドゴルフを楽しんでいらっしゃいました。



## 桶川ふれあいフェスタ開催

桶川ふれあいフェスタが5月8日、3年ぶりに開催されました。開会式は市民ホールで行われ、昨年、桶川市に貢献された団体、個人の皆様に小野市長より感謝状が手渡されました。

マスク越しでの会話ではありますが、久しぶりの友人とも会話は安心もしますし勇気も湧いてくるような気がしました。

「障害のある方も健康な方も、高齢者も子どもも楽しくふれあい、笑顔一杯の一日にしましょう!」という一日を、皆さん精いっぱい楽しんでおられました。



## 桶川市カラオケ発表会開催

桶川市カラオケ連合会主催の「第44回カラオケ発表会」が5月13日、桶川市民ホールにて開催されました。今回は104人の皆さまが参加され、熱唱されていました。

早く自由にカラオケを楽しめ、マスク無しで生活できる日常がくることを願っております。

今回も桶川市カラオケ連合会から桶川市社会福祉協議会に、車いす2台が寄贈されました。



## 第25回桶川べに花まつり開催

第25回桶川べに花まつりが6月18日、桶川市城山公園多目的グラウンドをメイン会場にして開催されました。

今年の紅花は開花が遅れ二～三分咲き程度でしたが、3年ぶりのまつり開催に多くの市民、近隣の皆さんが来場され盛り上がりしました。また来賓として大野埼玉県知事をはじめ近隣の市長、姉妹提携している飯豊町、白鷹町、那珂市も参加され、久しぶりに旧交を暖めることができました。



「べに花結婚式」もステージ上で行われ、大野知事から祝福をいただきました。笑顔が絶えない一日となりました。

岡地まさる 県政事務所

〒363-0026 埼玉県桶川市上日出谷42-73  
Tel. 048-780-2982 / Fax. 048-780-2983

ポスティング作業など、お手伝いいただける方を募集しています。詳しくは岡地まさる県政事務所へお問い合わせください。



埼玉県議会議員

# 岡地まさる 県政報告

## 信頼と責任

2022年 秋号

岡地まさる県政事務所

桶川事務所

桶川市上日出谷42-73

TEL.048(780)2982

FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

### KENSEI HOUKOKU 県議会9月定例会報告

## 最大規模の補正予算で原油・物価高騰、新型コロナへの対応強化へ

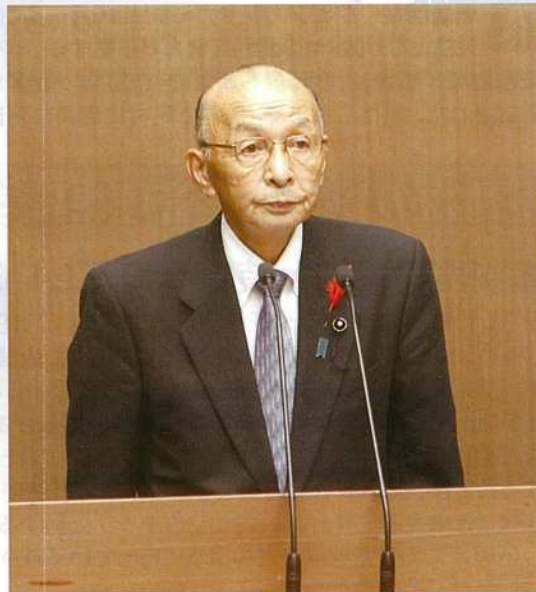
### 補正予算【第4号】1,765億1,218万9千円

県議会9月定例会は9月22日に開会し、原油価格や物価の高騰、長引く新型コロナへの対応を目的とした補正予算【第4号】1,765億1,218万9千円の計上等を議決し10月14日に閉会しました。

補正予算の内、74億1,872万4千円は原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への緊急支援として、トラック運送事業者、観光事業者、農業者、福祉施設等への支援策が盛り込まれています。また、原油価格・物価高騰等の影響を受けにくい経営体質・生活様式への転換を促す支援策として15億83万5千円、生活困窮者等への緊急支援策として14億1,017万1千円、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として1,619億6,282万円等が盛り込まれました。

その他、今年1月にふじみ野市で医師らが散弾銃で撃たれて死傷した事件を受け、在宅医療等の安全対策費として1億9,616万円を計上し、複数人での訪問に係る経費や通話録音装置等の導入経費を補助することとなりました。

私たち自民党県議団はこれからも一丸となって、県民誰もが安全・安心に暮らせる社会の実現に向け、日々邁進してまいります。



所属委員会

環境農林委員会

自然再生・循環社会対策特別委員会(委員長)

図書室委員会

### 一般質問報告

(県議会9月定例会/令和4年10月5日)

## 部活動の地域移行についてなど8項目を質問・提言

先の県議会9月定例会においては一般質問に登壇する機会を得て、「部活動の地域移行について」や「地域問題」など8項目15件について質問・提言をしました。本号ではその一部概要を掲載・ご報告いたします。皆さまのご感想や県政に対するご意見などをお寄せください。

### 部活動の地域移行について

#### ■部活動の大きな転換点としての地域移行について

**Q** スポーツ庁と文化庁が、公立中学校の休日の部活動を地域の民間団体に指導や運営を委ねる「地域移行」を3年間かけて進めるという事だが、長年、学校が担ってきた部活動の大きな転換点になると思われる。実現には様々な課題が山積しているが、休日の部活動の地域移行は学校における部活動の制度改革への第1歩と考えられる。埼玉県として部活動の地域移行についてどのように考えるか、知事の所見を伺いたい。

**A 大野知事** 私は、地域移行を進める上では、様々に指摘されている課題に丁寧に向き合うと同時に、子供たち重視の視点に立ち、これまで培われた部活動の良さを損なわないことが大切と考えている。教育委員会にはそうした視点を念頭に、生徒、保護者のニーズを踏まえながら、丁寧に進めていただきたいと考える。県としても、国に対し必要な要望を行うなど、市町村の取り組みを支援していく。

#### ■生徒や保護者の意見について

**Q** 地元桶川市の教育委員会担当課は、まだ、国や県からの正式な通達は来ていないが、部活動の地域移行を実施するなら、当事者の生徒及び保護者の意見を聞いて進めていただきたいと申している。生徒及び保護者の意見を聞く機会の設定など、県の今後の予定について伺いたい。

**A 教育長** 県では、令和4年9月に市町村の担当者会議を開催し、生徒や保護者、教員の意見を把握するためにアンケート等を行っている事例などの報告をいただき、市町村間における情報共有を図った。今後も各市町村に対して生徒や保護者の意見を聞く機会の設定を働き掛けるなど取り組んでいく。

#### ■県の今後の取り組みについて

**Q** 桶川市は市スポーツ協会加盟のスポーツ団体を対象とした部活動の地域移行の制度に関する説明会を9月に実施した。市町村の取り組みに対する県の支援など、今後、どのように取り組んでいくのか、今後の予定と見通しを伺う。

**A 教育長** 県では、令和3年度は白岡市で、令和4年度は戸田市を加え実践研究を行っている。この実践研究は、地域移行した場合の活動の場や指導者の確保などについて検討し、モデルケースとなる取り組みを実践するとともに課題を検証するもの。実践研究の成果や課題については報告会を開催し、他の市町村

にも情報提供を行っている。県では、関係課からなる「埼玉県部活動地域移行推進委員会」を令和4年7月に設置し、現在、これらの課題を整理している。国でも部活動のガイドラインを改訂する予定と伺っている。県としても庁内関係課と連携し、スポーツ・文化団体への協力を要請し、部活動の地域への移行が円滑に進むよう取り組んでいく。



### 問題行動の増加について

**Q** 現在の学校教育の中では、部活動指導が教員と生徒との関わりをより深め、信頼関係を構築し、思春期における諸問題の解決の一助になっている。部活動を地域移行することで、生徒の問題行動が増えるのではないかと危惧するが見解を伺いたい。

**A 教育長** 今回、部活動を地域移行することで、より幅広い世代間の交流も可

能となり、さらに豊かな人間性を育むことにつながることを期待される。また、学校と地域で異なる活動に参加することになり、生徒の主体的・意欲的な活動を促し、充実感や満足感を実感できるなど、生徒の自己肯定感の醸成も期待される。これまで部活動が果たしてきた役割を踏まえながら、学校と地域がそれぞれ責任をもって進めていくことが重要と考えている。

### 特定外来生物クビアカツヤカミキリ対策の一層の強化・推進を

**Q** さくらの大敵で現在問題になっている特定外来生物クビアカツヤカミキリについて、県内では平成25年に初確認された後、県が平成30年度から始めた「クビアカツヤカミキリ発見大調査」では、令和3年度までに県北部を中心に19市町での被害が確認され、被害地は徐々に広がっている。県はどのように対策を強化させているか、また、地域の力で被害を収束させるためどのように県民を巻き込んでいくのか伺う。

**A 環境部長** クビアカツヤカミキリは6月～8月に成虫となり数kmの範囲を飛んで移動する。年々被害地域が拡大し、今年度も新たに4市町村で被害が確認された。県はこれまで、被害市町村に職員を派遣



し、薬剤駆除の方法や、成虫を捕殺するネットの張り方などの技術的助言を行うとともに、令和3年度からは被害樹木の伐採や薬剤購入に対する市町村補助を実施してきた。今年度は予防にも力を入れ、東京都立大学と連携して作成した被害分布予測マップを県内全市町村に周知して注意を喚起し、まだ被害がない地域にも未然防止に効果のある薬剤の使用を働き掛けている。

また、被害状況の早期発見・迅速な対応が重要と考え、「クビアカツヤカミキリ発見大調査」として県民から情報を収集し、スマートフォンを活用した情報提供を可能にした。今年度からは環境科学国際センター内に生物多様性センターを設置し、科学的知見を用いた有効な対処方法などを研究、情報発信していくことで、地域での防除活動の促進に一層努めていく。

### 動物の愛護及び管理に関する法律等の一部改正について

#### 制度の周知と装着への正しい理解に向けた啓発について

**Q** 動物愛護法の改正により、令和4年6月1日からブリーダーやペットショップなどの犬猫販売業者に対して、店舗等で扱う犬猫にマイクロチップを装着し、環境省のデータベースに登録することが義務付けられた。マイクロチップの装着は国内でも既に多数の実績があるが、これまでに副作用などの障害は報告されていない。マイクロチップを装着し所有者情報を登録することは、飼い主や犬猫にとっても非常に有益であり、さらなる普及を目指すべきと考える。県として、マイクロチップに関する制度の周知と装着への正しい理解に向けた啓発をどのように行っていくのか伺いたい。

**A 保健医療部長** 議員ご指摘のとおり、マイクロチップは大変有効であり、保健所等に収容される犬猫を確実に飼い主の手元に返すことで、殺処分削減につながる効果も期待できる。県ではその装着が法律で義務化される以前から、ホームページや広報紙をはじめ、公式SNS「まいたま」などを通じ、マイクロチップについて正しい理解を深めてもらうための情報を発信してきた。さらに、動物愛護週間や県民の日に合わせてイベントなどで普及に努めてきた。今後もマイクロチップの安全性や装着のメリットについて正しく理解していただくための啓発に重点を置きながら、引き続き理解促進に取り組んでいく。

#### 新たなデータベースの運用について

**Q** 今回登録が義務付けられることになった環境省のデータベースにログインできるのは、保健所などの行政機関に限定されており、民間獣医師は情報を直接確認することができない。このため、動物病院で迷子の犬猫が保護された際に、飼い主に犬猫を返せない事態も考えられる。こうした事態について、県はどのような対応を講じることができるのか伺いたい。



**A 保健医療部長** 議員お話しのとおり、動物病院ではマイクロチップの飼い主情報を直接検索できない。そこで県では、動物病院に迷子の犬猫が保護された際には、保健所等が病院の依頼を受けデータベースから飼い主情報を検索し、判明した飼い主と病院の橋渡しをすることで、迷子の犬猫がスムーズに飼い主の手元に戻るよう支援したいと考えている。今後ともマイクロチップの普及・啓発にしっかりと取り組み、迷子の犬猫の飼い主への返還を推進することなどにより、殺処分「ゼロ」を目指していく。

### 商店街の振興について

**Q** 県では、商店街に対し老朽化した街路灯の設置等の補助などを行っているが、商店街は大変厳しい状況に直面している。大型店の進出、特に北部等で見られる人口減少、ネット通販の浸透、さらには新型コロナの影響もあり、来街者が減少していると聞いている。商店街は買い物の場を提供するだけでなく、街路灯や防犯カメラを設置し、地域の安心・安全を守る役割、地域に賑わいを創る役割、さらにはコロナ禍においては、地域の人々を元気づける役割を果たしている。そこで、ハード・ソフト双方から、頑張っている商店街が明るく活気づくような支援策を講じることができないか伺う。

**A 産業労働部長** 商店街は地域の魅力やまちのイメージ形成に影響を与える、言わば「まちの顔」であると考えており、これまでもハード、ソフトの

両面から支援を行ってきた。ハード面では街路灯のLED化やアーケードなどの施設整備、ソフト面ではイベントへの補助などを行っている。しかし、もっと商店街のニーズと実情に合った取り組みができるのではないかなどの課題も認識している。そのため、今年度は県職員が県内の全商店街を訪問し、実情を把握するとともに、緊密なコミュニケーションを図っている。その中で、個々のニーズを拾い上げた上で専門家を派遣し、商店街の取り組みをブラッシュアップして補助メニューの利用につなげる支援に取り組んだり、補助率と補助上限額を引き上げた支援などを進めている。今後も各商店街の実情に合わせて支援策を講じていく。



## <地元問題について>

#### 県道桶川停車場線の整備について

**Q** 桶川市では桶川駅東口駅前広場整備事業を実施し、県も市が整備する駅前広場と中山道を結ぶ県道桶川停車場線の整備に、平成27年度から着手している。また、これと交差する中山道についても、右折帯整備等の交差点改良事業を実施し用地買収が進んでいるが、まだ、本格的な工事には至っていない。県道桶川停車場線と中山道の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

また、交通混雑の激しい中山道の交差点改良区間について、まずは暫定的な右折帯の整備が可能だと考えるが、所見を伺いたい。

**A 県土整備部長** この道路では、現在、桶川駅東口駅前広場から県道鴻巣桶川さいたま線、通称中山道と交差する桶川駅前交差点までの130m区

間の拡幅整備を進めている。併せて、中山道についても、桶川駅前交差点の改良に必要となる、148m区間の拡幅整備を進めている。平成28年度に用地買収に着手し、現在の用地買収率は72%となっている。令和4年度は、引き続き用地買収を進めるとともに、電線共同溝工事に関する設計及び占用物件の移設工事を実施している。今後も、早期に拡幅工事に着手できるよう取り組む。また暫定的な右折帯の整備は、混雑緩和に有効な手段であり、整備に向け進める。



#### 県道蓮田鴻巣線の歩道整備について

**Q** 県道蓮田鴻巣線のうち、県道川越栗橋線と交差する桶川高校入口交差点から北側は、小中学校の通学路になっており、順次、県による歩道整備が進められているが、未だ歩道がなく、狭い路肩を歩かざるを得ない箇所もあることから、子ども達が安心して通学ができるよう、1日も早い完成を望む声が私のもとに届いている。そこで、桶川高校入口交差点北側の事業中区間における現在の進捗状況と今後の見通しについて伺う。

**A 県土整備部長** これまでに桶川高校入口交差点から北側の240m区間において、交差点改良に合わせた歩道整備が完了している。平成27年度か

らは、北側の600m区間の歩道整備に着手し、現在の用地買収率は61%、工事進捗率は33%となっている。令和4年度は、引き続き用地取得を進めるとともに、用地が取得できた箇所の工事を実施している。

今後も、地元の皆様のご理解とご協力をいただきながら、事業に取り組んでいく。



## 岡地まさる 県政事務所

〒363-0026 埼玉県桶川市上日出谷42-73  
Tel. 048-780-2982 / Fax. 048-780-2983

ポスティング作業など、お手伝いいただける方を募集しています。詳しくは岡地まさる県政事務所へお問い合わせください。



# 自民党県議団ニュース

埼玉県議会自由民主党議員団



## 県民ニーズを的確に捉え、県政をリードする自民党県議団!



所属議員：長峰宏芳 小谷野五雄 小島信昭 齊藤正明 宮崎栄治郎 本木 茂 田村琢実 高橋政雄 神尾高善 諸井真英 中屋敷慎一 梅沢佳一 新井一徳 須賀敬史 武内政文 齊藤邦明 小川真一郎 白土幸仁 岡地 優 荒木裕介 新井 豪 立石泰広 小久保憲一 日下部伸三 永瀬秀樹 細田善則 岡田静佳 内沼博史 横川雅也 飯塚俊彦 浅井 明 宇田川幸夫 松澤 正 吉良英敏 美田宗亮 藤井健志 木下博信 関根信明 宮崎吾一 高木功介 松井 弘 渡辺 大 千葉達也 逢澤圭一郎 高橋稔裕 阿左美健司 杉田茂実 小川直志 石川誠司 (以上49名)



全会一致にて条例を採択した埼玉県議会

「ひきこもり」はさまざまな要因によって社会的な参加の場がせばまり、就労や就学などの自宅以外の生活の場が長期にわたって失われている状態のことを指します。埼玉県議会自由民主党議員団では、ひきこもり支援に関するプロジェクトチームを作り、ひきこもり支援のための協議を続けて参りました。

昨年二月定例会に於いて、「埼玉県ひきこもり支援に関する条例」を自民党発議で提案致しました。条例の内容は、ひきこもり状態にある者の意思を尊重することを基本理念として定め、県の責務及び民間支援団体等の役割を明らかにするとともに、民間支援団体等による支援を推進するために必要な事項を定めることにより、安心して支援を受けられる社会を実現することを目的とするものであります。条例は、全会派一致にて可決・成立。

### 「埼玉県ひきこもり支援に関する条例」が可決・成立。施行されました!

謹賀新年  
皆様にかかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は、埼玉県議会自由民主党議員団の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年、新型コロナウイルス対策が本県の重要施策として対応して参りました。県民の安全・安心に繋がる意見・提言を行うことで、現在の県のコロナ感染症対応に活かされているものと自負しております。また、令和四年度に於いても補正予算を六回組むなど、コロナ対策はもとより、長期化するエネルギー価格や物価の高騰等の影響により、

厳しい状況に置かれている事業者、県民への更なる支援を目的して参りました。この他にも、県議団にて取り組んだ主な施策についてご紹介致します。昨年二月定例会に於いて自民党県議団にて提出した「埼玉県ひきこもり支援に関する条例」が可決致しました。この条例は、ひきこもり支援に関し、基本理念を定め、県の責務及び民間支援団体等の役割を明らかにするとともに、民間支援団体等による支援を推進することにより、必要な事項を定めることにより、安心して支援を受けられる社会を実現することを目的とするものです。



団長ご挨拶

埼玉県議会自由民主党議員団

団長 小島 信昭

また、六月定例会では、性的指向及び性自認の多様性を尊重した社会づくりに関し、全ての人の人権が尊重される社会の実現に寄与することを目的とする「埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例」及び、部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会を実現することを目的とする「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」を提案・可決致しました。

九月定例会では、県内で相次いで発生したインターネットカフェ個室立てこもり事件を受け、個室を設けて営業する店舗に必要な措置を講ずるよう求める防犯条例改正も行いました。今後も、時代の変化に対応できる政策に取り組みとで、県民の側に立つた県政運営を行って参ります。県民の皆様の自民党県議団への更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

# 優先駐車場の適正利用を目指す！

## パーキングパーミット制度の導入を検討！

### 改正条例案を自民党県議団がパブコメ募集！

埼玉県議会自由民主党議員団では、障害者や妊婦、怪我をされた方々に専用駐車場の利用証を交付するパーキングパーミット制度の導入を目指し、プロジェクト・チームを立ち上げ、課題整理等検討を行って参りました。

パーキングパーミット制度は、平成十八年に佐賀県でスタートした制度であり、現在では福岡県や熊本県など四十一府県が同制度を取り入れています。県内に於いても、川口市と久喜市が独自に制度を導入しています。

こうした中、障害者等の優先区画に健常者が車を止めるルール違反への対応に苦慮している商業施設管理者等の声を受け、埼玉県に於いても広域行政の観点から、同制度の導入を目指すこととし、議論を続けて参りました。県内先進自治体である川口市、久喜市及びダブルスペースを導入している福岡県に現地視察及びオンライン視察を致しました。

課題の整理とともに、制度導入への取り組みとして「埼玉県福祉のまちづくり条例」を一部改正することとし、条例改正に伴う県民の意見を広く募集する「県民パブリックコメント」を行って参ります。募集期間は、令和四年十二月二十三日から令和五年一月二十二日までの予定で、自民党埼玉県連ホームページにて賜っています。

条例が早期に制定され、障害者等が利用しやすい環境づくりが整うよう、皆様のご意見を宜しくお願い致します。



条例改正案を議論するプロジェクト・チームの様子



久喜市にて制度等の視察を行うPT幹部

自由民主党埼玉県支部連合会ホームページ  
www.jimin-saitama.net

# 「政策大綱」を提言・提案！

## 自民党県議団が令和五年度予算編成に関する

### 「政策大綱」「市町村要望」を県知事に提出！

自民党県議団政調会が取りまとめた「令和五年度政策大綱(合計392項目)」及び「令和五年度埼玉県予算等に対する要望(市町村要望190項目・議員要望50項目)」を大野知事に提出し、令和五年度の埼玉県予算並びに施策の編成に反映するよう申し入れを行いました。

令和五年度の予算については、引き続きコロナ対策、ポストコロナをにらんだ新しい生活様式、更には経済の再生に向けた対策や災害に強い県土づくり、物価高騰対策等が不可欠であり、対応した予算を求めました。知事からは、予算編成に際しては各部署に周知を図り、ご提案の反映に向けた検討をさせて頂きたいと前向きな返答がありました。



大野知事に政策大綱を提言する自民党県議団役員

## インターネットカフェの個室立てこもりを防ぐ「埼玉県防犯のまちづくり推進条例」を改正！

自民党県議団では、一昨年及び昨年に県内で相次いで発生したインターネットカフェの個室立てこもり事件を受け、県民の安全・安心に寄与すべくプロジェクト・チームを立ち上げ、当該事案に関する課題を検討して参りました。

その中で、店舗内に個室を設けて営業するインターネットカフェ等における犯罪を防止するため、インターネットカフェ等の営業を行う者が必要な措置を講ずるよう努めるものとする旨を定めた「埼玉県防犯のまちづくり推進条例の一部を改正する条例案」を作成し、九月定例県議会に上程し、全会一致にて可決致しました。

内容は、個室を設け、当該個室において客に図書等の閲覧を行わせる営業を行う者等は、防犯に係る責任者の設置、従業員に対する防犯に係る指導、犯罪の防止に配慮した構造、設備等を有する店舗の整備その他必要な措置を講ずるよう努めるものとするものです。



夢と笑顔あふれる桶川を築くために！

おかち 優

# 埼玉県議会議員 岡地まさる

埼玉県議会自由民主党議員団 県政調査事務所

住所：埼玉県桶川市上日出谷42-73

電話：048-780-2982

FAX：048-780-2983

ホームページ：https://www.okachi-masaru.com







埼玉県議会議員

# 岡地まさる 県政報告

## 信頼と責任

2023年 新春号

岡地まさる県政事務所

桶川事務所

桶川市上日出谷42-73

TEL.048(780)2982

FAX.048(780)2983

発行 埼玉県議会自由民主党議員団

### 県議会12月定例会報告

## エネルギー価格・物価高騰等への緊急支援など

補正予算【第5号】**115億2,695万4千円**  
補正予算【第6号】**129億1,642万8千円** を議決

県議会12月定例会は12月2日から22日にかけて開催され、一般会計補正予算【第5号】及び【第6号】、埼玉県証紙条例を廃止する等の条例などを議決しました。

補正予算【第5号】の主な内容は、長期化するエネルギー価格や物価の高騰等の影響により厳しい状況に置かれている事業者、県民への更なる支援策として46億2,684万7千円が計上されました。また、脱炭素社会に向けた省エネ・再エネ設備導入の促進策として10億3,127万6千円が盛り込まれ、中小企業等の省エネ・再エネ設備の導入費用の一部が補助されることになりました。

補正予算【第6号】は妊婦や子育て家庭に対する支援として87億4,533万4千円や幼稚園等の送迎時における事故防止対策として14億9,006万円などが盛り込まれました。これにより一般会計補正後累計額は2兆4,330億3,883万円となりました。



## 知事とは強い絆で 県政に邁進!!

県全体の課題から地元問題まで、大野元裕知事とは常に連携を密に取り組んでいます。

## 「道の駅(仮称)おけがわ」の進捗状況

桶川市は国道17号線が南北を縦断し、県道川越栗橋線が東西を横断。平成27年には圏央道が開通し、平成28年には上尾道路のI期区間が開通したことにより、交通の利便性はもとより、首都圏の交通の要衝としてポテンシャルが高まっています。こうした地の利を活かし、「休憩機能」「情報発信機能」「交流機能」に加え、「災害時防災拠点」としての機能を持った「道の駅(仮称)おけがわ」の整備が進んでいます。

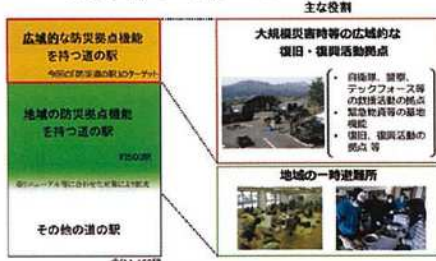
道の駅(仮称)おけがわの完成イメージ



### 「防災道の駅」認定に向けて (災害時の広域防災拠点)

国が定める「防災道の駅」認定に向け、県議会では自民党県議団が提出した「政策大綱」において、県に手続きの推進を求めるなど、取り組みが進められています。認定には、都道府県が定める道路計画で広域的な防災拠点に位置づけていること、建物が耐震化され2,500㎡以上の駐車場を備えたりしていることなどが要件になります。

#### 「防災道の駅」のイメージ



### 令和4年度は事業者選定を実施

道の駅整備に向け令和4年度は、施設の設計、建設、維持管理、運営を一体として行う民間事業者の選定を実施。最優秀提案として「TTCグループ」が優先交渉権者に決定し、現在、市と「TTCグループ」とで基本協定、事業契約の締結に向け協議が進められています。



▲かつて宿場町として交通と「べに花」によって繁栄した桶川。歴史を継承しつつ、現代から未来へと発展を遂げる新しい時代の桶川宿となります。

「道の駅(仮称)おけがわ」が高速道路の休憩施設の不足解消に向けた社会実験の対象に決定!

概要 休憩施設同士の間隔が概ね25km以上、ICからの距離が2km以内の道の駅で、ETC2.0搭載車を対象に、高速道路を降りて道の駅に立ち寄り後、2時間以内に再進入した場合には、降りずに利用した料金のみとなります。

# 地域の発展と人々の安心安全に向け日々全力!!

## 環境農林委員会視察

環境農林委員会は、11月21日、22日と滋賀県の先進的な取り組みについて視察しました。



### ● 管路用マイクロ水力発電システム

滋賀県では「しがエネルギービジョン」に基づき再生可能エネルギーの導入促進を進めており、平成30年に(株)Dk-Power(ダイキン工業(株)子会社)とマイクロ水力発電事業基本協定を締結し、令和2年7月から給水管水路を利用した小水力発電を開始しています。年間発電電力量は、一般家庭50軒程度の電力使用量に相当する17万3,000kw/時とのことです。

### ● 農業法人(有)フクハラファーム

フクハラファームは、本州最大規模の200haの農地を預かり、従業員19人で年商4億円を売り上げています。令和元年度に農林水産省のスマート農業実証プロジェクトに参画し、ロボットトラクターや自動田植機、自動給水システム、キャベツ全自動収穫機などを用いた水稻と麦、キャベツの作付けにおけるスマート農業体系の構築に取り組み、労働時間の大幅削減や収量増加を達成しています。



## 英霊にこたえる議員連盟視察

埼玉県議会英霊にこたえる議員連盟で靖国神社への視察を行いました。靖国神社に到着したところ、桶川市遺族会の方も参拝に訪れておりました。



## 桶川全国ふるさと祭り



3年ぶりに、第20回桶川全国ふるさと祭りが桶川べにはなふる里館で11月26日、27日に開催されました。今年の参加県は12県、他にキッチンカーなど含め20店が参加して和やかに開催されました。

## 建設埼玉桶川地本設立30周年記念式典

建設埼玉桶川地区本部設立30周年記念式典が11月18日に桶川市商工会館にて開催され出席しました。

建設埼玉は、住宅などに関係する職人さんが会員となっている組合で、現在は430名強の方が入会しているという事。市民まつりでも、丸太切りやまな板販売など頑張っておられます。



## おけがわシルバーまつり



第21回おけがわシルバーまつりが11月20日、勤労福祉会館にて開催されました。模擬店、売店の他に作品展も行われ、見事な作品展示に感心いたしました。



## 桶川市表彰式典



令和4年度桶川市表彰式典が11月5日、東公民館にて開催され出席しました。

市では毎年、市政発展や市民福祉の向上に尽力された方々やスポーツ・文化の分野で優れた成績を取った方々等を、表彰しています。令和4年度は172名、5団体の皆さまが表彰されました。皆さまの長年の努力、ご尽力に深く敬意を表します。

## おけがわスポーツフェスティバル



「おけがわスポーツフェスティバル2022」が11月13日、桶川サン・アリーナにて開催され出席しました。

市内のスポーツ団体など16団体が参加し、様々なスポーツを体験できる市民参加型のイベントです。当日は、桶川市と連携協定を結んでいる日本体育大学も参加し、カナダ発祥の「キンボール」というスポーツ体験が行われました。スポーツの素晴らしさや体を動かす楽しさを多くの人に感じていただけましたら幸いです。

## 桶川市地域福祉活動センター竣工式

大規模改修を行っていた桶川市地域福祉活動センターの竣工式が8月23日に開催されました。

窓を多くとり明るいイメージに、また、県産材を多く取り入れ木の香りや暖かみのある建物となりました。市民の皆さまに愛されるセンターになるように願っています。



## 九都県市合同防災訓練



第43回九都県市合同防災訓練が8月28日、北本市の北本総合公園・北本市体育センターにおいて開催されました。コロナ禍で3年ぶりの開催。雨のためヘリコプターを使用した訓練は中止となりましたが、他の訓練は予定通り実施されました。

いつ起こるか分からない災害への備えは常に持っているようにしたいものです。



## 埼玉県消防操法大会解団式

埼玉県消防操法大会が8月20日、3年ぶりに埼玉県消防学校において開催され、桶川市消防団も精鋭を選抜して出場し、第3位に入賞しました。その「令和4年度第33回埼玉県消防操法大会解団式」が9月10日に開催され出席しました。

仕事をしながらの訓練は厳しく、仕事にも影響が出るとは思いますが、良く耐えて頑張ってくれたと思っています。



## 江川改修促進協議会が要望書提出



江川改修促進協議会(会長・小野克典桶川市長)が8月22日、県に早期整備に関する要望書を関係4市(上尾市、桶川市、北本市、鴻巣市)の皆さまと提出しました。

現在、上流部で調整池の整備が行われています。一日も早い完成に向け私も全力で取り組んでまいります。

# 岡地まさる 県政事務所

〒363-0026 埼玉県桶川市上日出谷42-73  
Tel. 048-780-2982 / Fax. 048-780-2983

ポスティング作業など、お手伝いいただける方を募集しています。詳しくは岡地まさる県政事務所へお問い合わせください。



# 桶川市内の主なインフラ事業 《県土整備部》

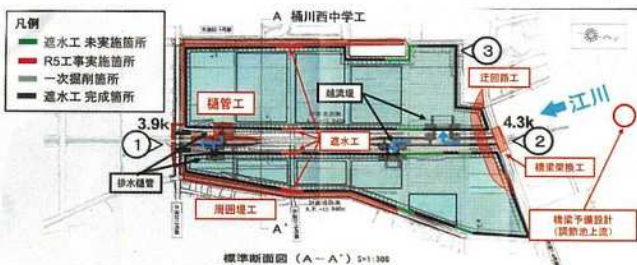
## 令和5年度当初予算

路線名等	事業名等	事業概要
① 駅東口通り線	街路改良事業	L=278m、W=6.0(20.0)m
② 駅東口通り線	街路整備	L=278m、W=6.0(20.0)m
③ 蓮田鴻巣線(加納)	交通安全施設整備	L=600m、W=6.0(12.0)m
④ 蓮田鴻巣線(加納)	自転車歩行者道整備	L=600m、W=6.0(12.0)m
⑤ 太郎右衛門橋(川越栗橋線) 橋りょう修繕	支承修繕	
⑥ べにばな陸橋(川越栗橋線) 橋りょう修繕	橋脚補強、落橋防止	
⑦ 太郎右衛門橋(川越栗橋線) 橋りょう補修事業	支承修繕	
⑧ 川越栗橋線(川田谷)	道路環境整備	防草対策工(L=1200m)
⑨ 蓮田鴻巣線(小針領家)	舗装道整備	舗装修繕(W=7m、L=200m)
⑩ 川越栗橋線(下日出谷)	舗装道整備	舗装修繕(W=7.5m、L=200m)
⑪ 川越栗橋線(川田谷)	舗装道整備	舗装修繕(W=7.8m、L=250m)
⑫ 江川	河川改修	測量設計、調節池整備工、橋梁架換工



## 令和4年度2月分補正予算 (国の補正対応分)

路線名等	事業名等	事業概要
補1 蓮田鴻巣線	道路構造物維持事業	通学路安全対策(L=500m)
補2 江川	社会資本整備総合交付金(河川)事業	調節池整備工、橋梁架換工



# 地域と県政の架け橋として邁進!!

### オケちゃん駅伝競走大会開催

第9回オケちゃん駅伝競走大会が2月12日、素晴らしいお天気のもと桶川城山公園ジョギングコースを利用して3年ぶりに開催されました。33チームが6部に分かれ、低学年は960m、高学年は1,380mで競い合いました。



### 本学院節分祭開催

地元本学院の節分祭が2月3日に開催されました。今年はコロナ禍とあって豆まきは行わず、袋にお菓子を入れて子どもさん達に福を分けました。

皆様方の健康、家族が一年健康に過ごすことができるように願い、また、コロナ感染症が一日も早く終息することを願い終了しました。



### 江川改修促進協議会現場視察

江川調整池の遮水工現場を1月26日、江川改修促進協議会で視察しました。現在は調整池に水が流入するのを防ぐため、水を通さない層(不透水層)まで遮水矢板を打ち込んでいます。今後は、江川にかかる橋の建設、水道管の移設等の工事が予定されています。



### 拉致被害者救出署名活動に参加

北朝鮮による拉致被害者救出のための街頭署名活動が12月11日、浦和駅西口駅前で行われました。大野知事をはじめ清水さいたま市長、国会議員、県議員、市議会議員の皆様も駆けつけられました。全員救出まで「あきらめない」との思いを馳せながら活動してまいります。



### 憲法・人権市民の集い開催

第49回憲法・人権市民の集いが12月3日、さいたま文学館文学ホールにて開催されました。

人権作文の朗読、表彰式の後、第2部ではドキュメンタリー映画、「ぼけますから、よろしくお祈りします。」の上映がありました。



## 岡地まさる 県政事務所

〒363-0026 埼玉県桶川市上日出谷42-73  
Tel. 048-780-2982 / Fax. 048-780-2983

ポスティング作業など、お手伝いいただける方を募集しています。詳しくは岡地まさる県政事務所へお問い合わせください。

令和4年(2022年) 秋号

# 吉川・松伏のために!! 県東南部の連携強化

埼玉県議会議員

# 松澤 正

## 県政報告

〒342-0055 吉川市吉川一丁目30-26  
Tel. 048-981-0007 / Fax. 048-971-9330  
eメール office-matsuzawa@triton.ocn.ne.jp

発行:埼玉県議会自由民主党議員団

### KENSEI HOIKOKU 県議会9月定例会報告

## 最大規模の補正予算で原油・物価高騰、新型コロナへの対応強化へ

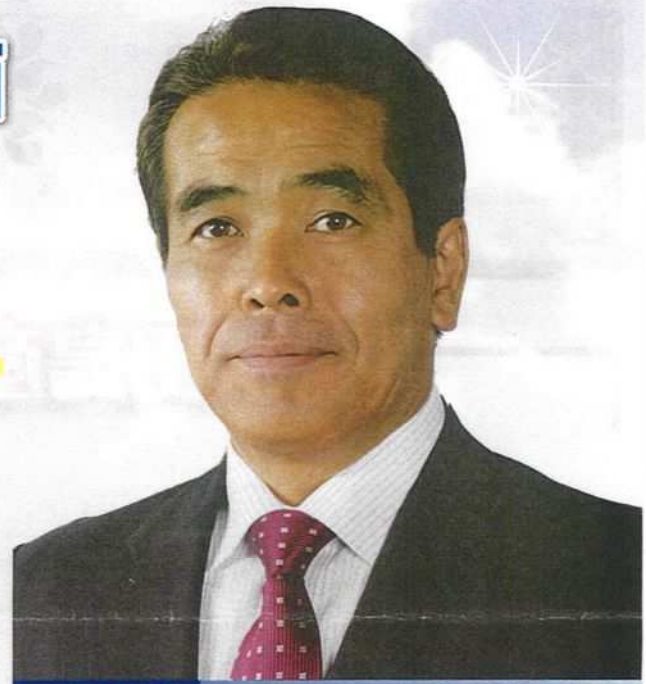
# 補正予算【第4号】1,765億1,218万9千円

県議会9月定例会は9月22日に開会し、原油価格や物価の高騰、長引く新型コロナへの対応を目的とした補正予算【第4号】1,765億1,218万9千円の計上等を議決し10月14日に閉会しました。

補正予算の内、74億1,872万4千円は原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への緊急支援として、トラック運送事業者、観光事業者、農業者、福祉施設等への支援策が盛り込まれています。また、原油価格・物価高騰等の影響を受けにくい経営体質・生活様式への転換を促す支援策として15億83万5千円、生活困窮者等への緊急支援策として14億1,017万1千円、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として1,619億6,282万円等が盛り込まれました。

その他、今年1月にふじみ野市で医師らが散弾銃で撃たれて死傷した事件を受け、在宅医療等の安全対策費として1億9,616万円を計上し、複数人での訪問に係る経費や通話録音装置等の導入経費を補助することとなりました。

私たち自民党県議団はこれからも一丸となって、県民誰もが安全・安心に暮らせる社会の実現に向け、日々邁進してまいります。



所属委員会

総務県民生活委員会 (委員長)  
経済・雇用対策特別委員会

### 原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への緊急支援 74億1,872万4千円

- ①福祉施設等の運営継続に対する支援 (21億8,972万8千円)  
高齢者施設、障害者施設、児童養護施設、保育所、放課後児童クラブ、私立学校、土地改良区等に対し補助する。
- ②トラック運送事業者の経営改善に対する支援 (35億3,534万7千円)  
運送事業者に対し補助するとともに、運送費への円滑な価格転嫁を促進する。
- ③農業者の経営継続に対する支援 (10億8,859万4千円)  
価格転嫁が困難な酪農家や採卵鶏農家等に対し補助するとともに、自給飼料の生産性向上を図るため飼料用機械の導入経費等を補助する。
- ④観光応援キャンペーンによる観光関連事業者への支援 (6億505万5千円)  
本県を目的地とする宿泊旅行に対して、最大3,000円分の地域観光クーポン券を配布する。



### 原油価格・物価高騰等の影響を受けにくい経営体質・生活様式への転換を促す支援 15億83万5千円

- ①グリーン分野への進出に向けた中小企業の事業再構築等の支援 (2億1,357万円)
- ②キャリアチェンジの促進 (1億4,684万3千円)
- ③海外での販路開拓に向けた支援 (1,000万円)
- ④化学肥料の使用量低減に向けた支援 (2億5,057万7千円)
- ⑤県産木材供給体制の構築 (4,900万円)
- ⑥民間企業や地域等の連携による観光振興の取組支援 (5,084万円)
- ⑦環境負荷の少ない自動車の普及推進 (7億5千円)
- ⑧県営住宅や県営公園における省エネ・再エネの推進 (8,000万円)



### 原油価格・物価高騰等の影響を受ける生活困窮者等への緊急支援 14億1,017万1千円

- ①生活困窮者の相談機会の拡充 (2,497万円)  
相談支援員、弁護士等の専門家による相談や生活必需品の配布などを行う「生活困りごと相談会」を県内4つのエリアで開催する。
- ②自殺を思い悩む県民の相談体制の拡充 (2,404万6千円)  
SNS相談「こころのサポート@埼玉」の体制を強化するとともに、身近な人の悩みに気づき支えることのできる「ゲートキーパー」への理解を深めるため、県民や事業者向けの啓発・研修動画を作成する。
- ③ひきこもり支援の推進 (1,016万4千円)  
ひきこもり支援団体の活動内容を周知する動画を作成し、SNS等で発信する。
- ④生活福祉資金特例貸付の借受人の相談体制の拡充 (13億5,099万1千円)  
県社会福祉協議会におけるコールセンターの拡充や、市町村社会福祉協議会における弁護士などの専門家による相談体制の強化に要する経費を補助する。



### 新型コロナウイルス感染症の拡大防止 1,619億6,282万円

- ①ワクチン接種の推進 (75億230万8千円)
- ②医療提供体制の確保・強化 (1,480億4,304万8千円)
- ③感染不安を抱える妊婦への支援 (9,268万9千円)
- ④福祉施設における感染拡大防止対策
  - クラスター発生防止の推進 (35億9,040万円)
  - サービス提供体制の継続確保への支援 (27億3,437万5千円)



## 新吉川橋完成式典に出席

「吉川橋の完成を祝う会」及び「渡り初め式」が8月6日に開催され出席しました。私の母校の吉川小学校体育館内にて式典の後、新橋に移動して記念碑除幕式、芳川神社神主の祈念祭、吉川市側から越谷市側への渡り初めが行われました。



橋の完成には多くの方のご協力があったことを改めて感じ、心より感謝をいたします。なお、あいさつ通り～吉川交番前区間についても随時工事が進められており、令和6年には全線4車線での共用となる予定です。



◀完成を祝う会にてお祝いのご挨拶をさせて頂きました。

## 松伏田島産業団地完成式典に出席



### 概要

所在地：松伏・田島地内  
道路：県道越谷野田線隣接、東京外環自動車道三郷ICから約11km  
事業面積：約183km<sup>2</sup>

式典にて祝辞を申し上げます。▶

「松伏田島産業団地造成工事完成記念式典」が9月25日、田園ホール・エローラにて開催され出席しました。平成27年から県議会議員として松伏町行政と一体となり取り組んできた事業であり、田島地区の皆さまや地権者の皆さまへの説明会から始まり、県政との調整、参入企業から要望等も頂きながら完成をむかえることができ感無量です。これから参入企業の建設工事等が始まりますが、しっかりと連携してまいります。



## 東埼玉テクノポリス25周年式典に参加

東埼玉テクノポリス開設25周年並びに協同組合設立20周年の記念式が9月11日、松伏町田園ホール・エローラで開催され出席しました。

大野元裕知事、三ツ林裕巳衆議院議員、中原恵人吉川市長、鈴木勝松伏町長、加藤克明吉川市議会議長、増田ひとし松伏町議会議長と共に招き頂きました。

東埼玉テクノポリスの益々の繁栄を祈念申し上げますと共に、東埼玉道路の利便性向上が図られますよう尽力してまいります。



## 九都県市合同防災訓練開催

第43回九都県市合同防災訓練が8月28日に北本総合公園にて開催されました。埼玉県・北本市・埼玉県警察並びに各消防組合・自衛隊を始め、医師会・



歯科医師会や各団体の協力の元、土砂降りの中、挙行されました。災害は天候を選ばず、いつ起こるか分かりません。一つひとつの動作は訓練とはいえ真剣味溢れるものでした。

◀右から藤井健志県議、松井弘県議、本人

### 松澤正県議会議員事務所

〒342-0055 吉川市吉川一丁目 30-26  
Tel.048-981-0007 / Fax.048-971-9330  
office-matsuzawa@triton.ocn.ne.jp  
HP <https://matsuzawa-tadashi.com/>

フェイスブックやラインでも情報発信中!!



令和5年(2023年) 春号

# 吉川・松伏のために!! 県東南部の連携強化

埼玉県議会議員

# 松澤 正

# 県政報告

〒342-0055 吉川市吉川一丁目30-26  
Tel. 048-981-0007 / Fax. 048-971-9330  
eメール office-matsuzawa@triton.ocn.ne.jp

発行: 埼玉県議会自由民主党議員団

## 県議会2月定例会

# 皆様の声を県政に活かし持続可能な発展を!!

# 令和5年度一般会計 超大型予算 2兆2,110億9,500万円を計上

県議会2月定例会(2月20日開会~3月17日閉会)は、令和5年度一般会計当初予算(案)2兆2,110億9,500万円の計上について審議しました。

私たち自民党県議団は昨年秋、ポストコロナを見据え地域経済の活性化に全力で取り組むべきと政策大綱にまとめ、大野知事に要望してきました。令和5年度当初予算は、私たちの主張がある程度反映された内容となりました。

長引くコロナ禍に加え、昨年からのロシアによるウクライナ侵攻や円安などによる原油価格・物価高騰は、私たち県民の生活に少しずつ影響をもたらしています。

当初予算は『ポストコロナ元年』を理念として、DX(デジタルトランスフォーメーション)のさらなる推進や中小企業の事業再構築に対する支援強化などが盛り込まれ、課題の解決や経済施策を進め、県の持続可能な発展につなげていく施策となっています。



## パーキング・パーミット制度<sup>※</sup>の導入に合わせ 自民党県議団が条例の改正を提案

私たち自民党県議団はパーキングパーミット制度の本県での導入に向け、昨年の秋からプロジェクトチームを立ち上げて審議を進め、2月定例会において「埼玉県福祉のまちづくり条例の一部改正」を提案しました。条例では、制度の主旨を県民に分かりやすく告知することをはじめ、実行力のある取り組みを県や事業者等に求めています。

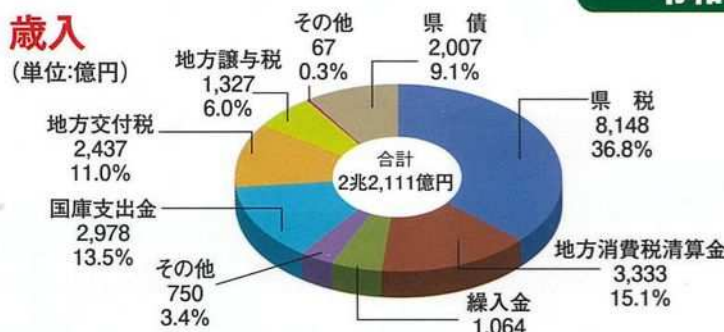
※パーキングパーミット制度とは、公共施設や商業施設などに設置されている車いすのマークが書かれている障害者等用駐車区画の利用対象者を、障害者、介護が必要な高齢者、妊産婦など一定の方に限定し、自治体が利用証を交付することで適正利用を図る制度です。



## 令和5年度一般会計当初予算

### 歳入

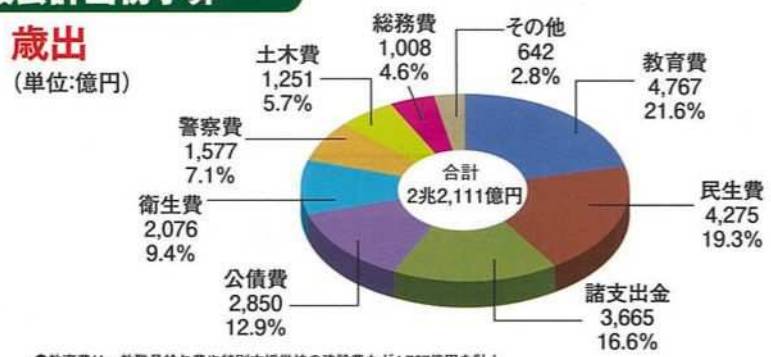
(単位:億円)



●県税収入は、個人県民税や法人二税など8,148億円を計上  
●国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金など2,978億円を計上  
●県債は、臨時財政対策債など2,007億円を計上

### 歳出

(単位:億円)



●教育費は、教職員給与費や特別支援学校の建設費など4,767億円を計上  
●民生費は、市町村が行う介護給付や保育所等の運営費への負担金、新たな児童相談所の整備など4,275億円を計上  
●諸支出金は、県税収入に伴う市町村への交付金や、他会計への支出金など3,665億円を計上

# 吉川市

# 松伏町

# の主な

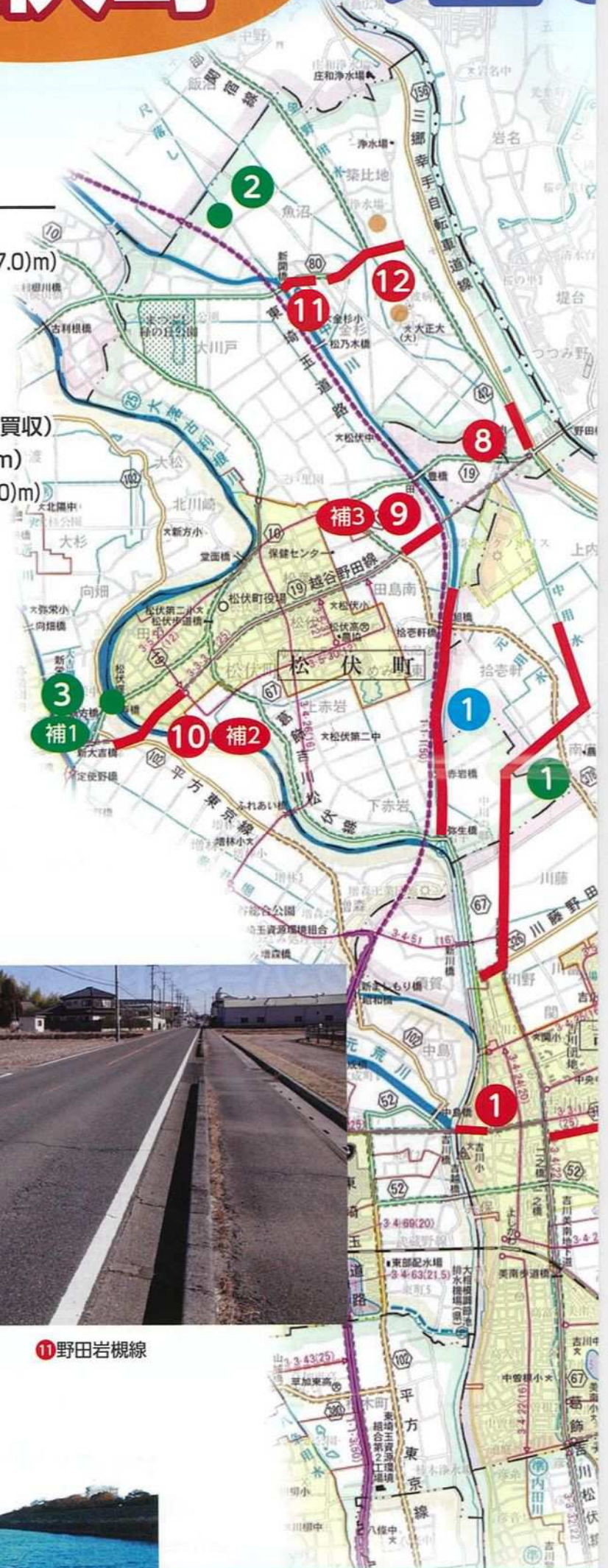
## 県土整備部

### 令和5年度当初予算

路線名等	事業内容
① 越谷吉川線	街路整備(L=617m、W=13.0(25.0)m)
② 越谷流山線	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=1,400m、W=13.0(27.0)m)
③ 加藤平沼線	道路改築(L=2,060m、W=12m)
④ 加藤平沼線(栄町)	舗装道整備(舗装修繕(L=6m、W=300m))
⑤ 三郷松伏線(三輪野江)	舗装道整備(舗装修繕(L=7m、W=250m))
⑥ 三郷松伏線(鍋小路)	舗装道整備(舗装修繕(W=8m、L=800m))
⑦ 大場川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(護岸工、用地買収)
⑧ 松伏金杉線(金杉)	自転車歩行者道整備(L=980m、W=7.0(10.5)m)
⑨ 越谷野田線(田島)	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=1,200m、W=13.0(25.0)m)
⑩ 越谷野田線(松伏西)	道路改築(L=1,100m、W=13.0(25.0)m)
⑪ 野田岩槻線(魚沼)	舗装道整備(舗装修繕(W=5.9m、L=400m))
⑫ 松伏春日部関宿線(築比地)	舗装道整備(舗装修繕(W=6m、L=700m))

### 令和4年度2月分補正予算(国の補正対応分)

路線名等	事業内容
補1 大場川	社会資本整備総合交付金(河川)事業(橋梁架換工)
補2 越谷野田線(松伏西)	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=1,100m、W=13.0(25.0)m)
補3 越谷野田線(田島)	社会資本整備総合交付金(改築)事業(L=430m、W=13.0(25.0)m)



⑨ 補3 越谷野田線(田島)



⑪ 野田岩槻線

## 総合治水事務所

### 令和5年度当初予算

路線名等	事業内容
① 中川	河川改修(護岸工、測量設計、用地買収)



① 中川(河川改修)



← 埼玉県議会  
松澤正の日々  
動はSNSで  
なれます。



# 県事業

令和5年度、吉川市・松伏町において予算を確保することができました主な県事業(インフラ整備)箇所です。

## 農業基盤整備事業

### 令和5年度当初予算

路線名等	事業内容
① 下八間堀(川藤)	農地防災事業(湛水防除)(排水路工(L=110m)、測量1式)
② 九尺排水機場(魚沼)	かんがい排水事業(長寿命化対策)(土木施設補修1カ所、建屋補修1式)
③ 古利根堰(松伏ほか)	農地防災事業(施設耐震)(堰柱補強工1式、家屋調査1式)

### 令和4年度2月分補正予算

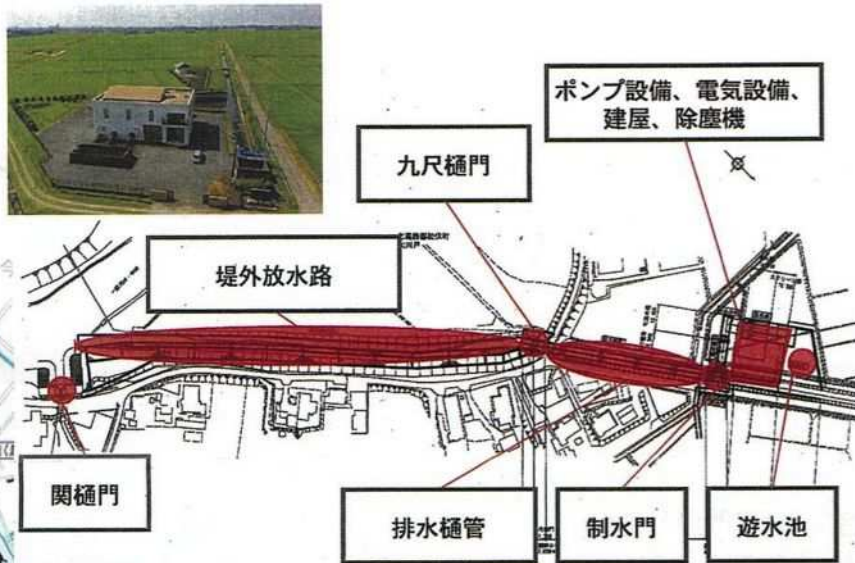
路線名等	事業内容
補1 古利根堰(松伏ほか)	農地防災事業(施設耐震)(堰耐震補強工1式)



① 下八間堀地区(排水路を整備して自然災害による被害を未然に防止し、農用地の生産性の向上と合理的な農業経営を図ります)

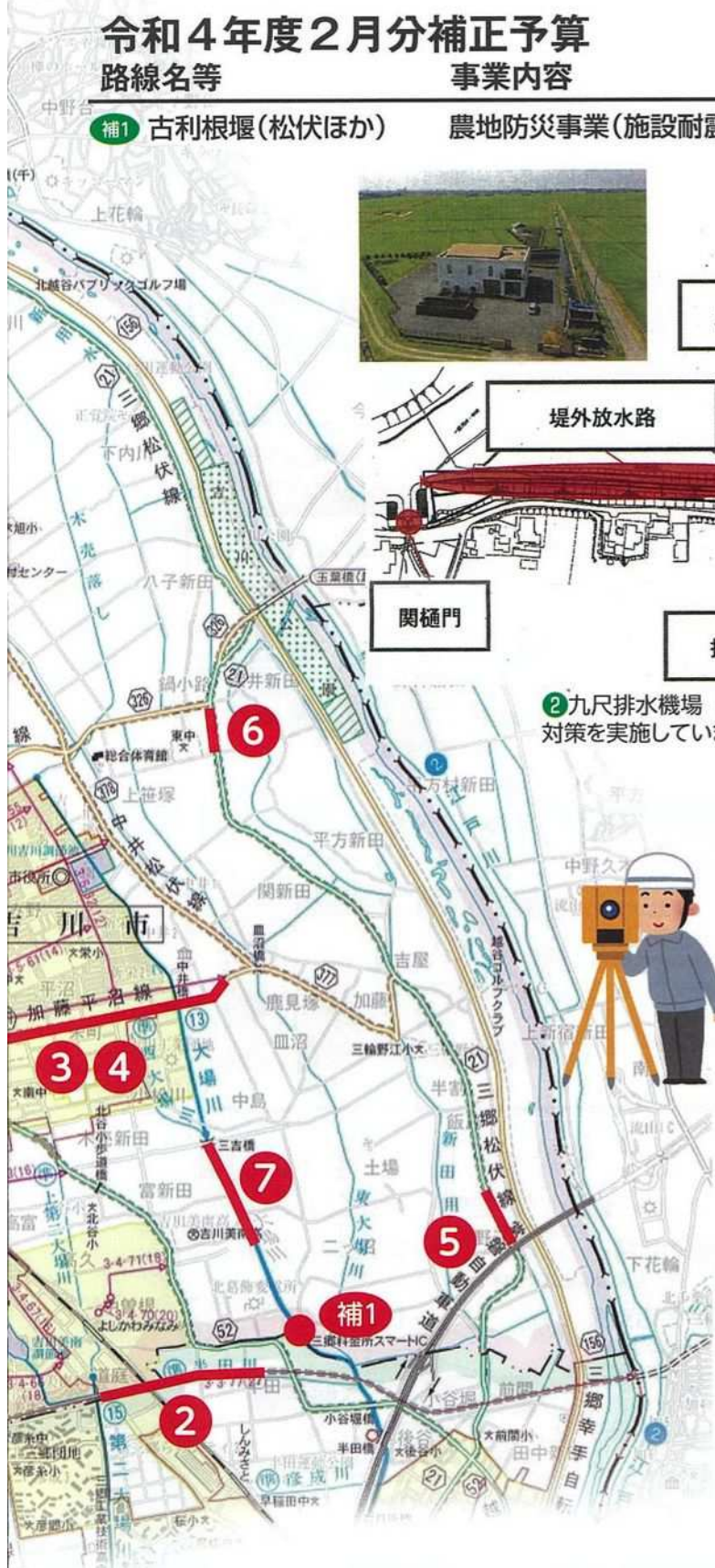


③ 補1 古利根堰(地域住民の安全保障と農業用水の安定供給を図るため、堰の耐震化対策工事を嫉視しています)



② 九尺排水機場(各施設の排水機能を維持するための保全対策を実施しています)

③ 補1 古利根堰(地域住民の安全保障と農業用水の安定供給を図るため、堰の耐震化対策工事を嫉視しています)



### 議員提案による条例件数は全国1位(平成27年度~令和4年度)

県議会議員として2期8年間に、私たち議員が提案して23件の条例を制定してきました。議員提案による条例の制定件数は全国1位を誇ります。

- 埼玉県防犯のまちづくり条例の一部を改正する条例
- 埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例
- 埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例
- 埼玉県ひきこもり支援に関する条例
- 埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例
- 埼玉県迷惑行為防止条例の一部を改正する条例
- 埼玉県受動喫煙防止条例
- 埼玉県ケアラー支援条例
- 埼玉県被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務の適正化等に関する条例
- 埼玉県特殊詐欺撲滅条例
- 埼玉県青少年健全育成条例の一部を改正する条例
- 埼玉県主要農作物種子条例
- 埼玉県民栄誉章等について議会の議決事件と定める条例
- 埼玉県犯罪被害者等支援条例
- 埼玉県小規模企業振興基本条例
- 埼玉県自転車の安全な利用の促進に関する条例の一部を改正する条例
- 埼玉県虐待禁止条例
- 埼玉県農林水産業振興条例
- 埼玉県防災航空隊の緊急運航業務に関する条例の一部を改正する条例
- 理容師法施行条例及び美容師法施行条例の一部を改正する条例
- 埼玉県障害のある人もない人も全ての人が安心して暮らしている共生社会づくり条例
- 埼玉県手話言語条例
- 被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務の適正化等に関する条例の一部を改正する条例

議員の活動にご覧に  
埼玉県議会議員 松澤正の政策や  
議会報告はホームページをご覧ください。→  
<https://matsuzawa-tadashi.com/>



令和5年度一般会計当初予算

主な事業について《抜粋》

社会的課題の解決と経済の両立

1. DXの推進による生産性の向上.....15億7,445万円

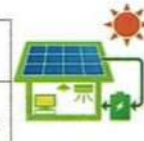
- DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
  - 新たな申請基盤の整備・運用【新規】/全庁GIS基盤の整備・運用【新規】/デジタル関連研修の拡充、ノーコードツールの導入【新規・拡充】等
- インフラ建設管理におけるDXの推進
  - インフラデータ活用基盤の整備【新規】/電子納品保管管理システム開発【新規】等
- 3D都市モデル整備によるデータを活用したまちづくりの推進【新規】
- 建築・住宅行政手続のデジタル化
  - 要件定義業務【新規】/審査環境の整備【新規】等
- 税務行政DXの推進
  - バックオフィス連携による納税証明書の省略化【新規】/税務システム等の更なる機能強化【新規】等
- 入札事務のDX推進
  - 建設工事等入札参加資格申請のオンライン化のためのシステム改修【新規】/電子入札共同システムの再開発【新規】等
- デジタル技術を活用した県民の利便性の向上
  - キャッシュレス収納の環境整備【新規】/立会人型電子契約サービスの導入【新規】等
- 県内中小企業のDX推進
  - 埼玉県DX推進支援ネットワークの機能強化【拡充】/優れたDXの取り組みの表彰・横展開【新規】等



2. 資源のスマートな利用の推進.....18億8,408.7万円

- 脱炭素社会の実現に向けた中小企業や家庭への支援
  - 家庭・企業等向け省エネ・再エネ活用設備導入に対する補助【拡充】/電動車等導入に対する補助【新規】等
- サーキュラーエコノミーの推進
  - サーキュラーエコノミー型ビジネスの創出【新規】/県有大規模集客施設における実証及び啓発【新規】/ワンストップ支援拠点による支援【新規】/リーディングモデルの構築【新規】等
- 埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進
  - 市町村と企業等とのマッチングを行うガバナメントピッチの開催【新規】/プロジェクトに取り組む市町村への財政支援【拡充】(令和5年度は29市町村が取り組む)等

家庭向け	太陽光パネル(7万円/kW)+蓄電池等(10万円/件)、蓄電池等(10万円/件)、エネファーム(10万円/件)等
企業等向け	太陽光パネル(5万円/kW)+蓄電池(補助率1/3)等、再エネ活用設備(補助率2/3)、コージェネレーション(補助率1/2)



3. 輝き続ける人材の育成・確保.....2億3,307.3万円

- 産業人材の育成
  - AI・IoT関連の応用講座の新設【新規】/AI・IoT関連の基礎講座の充実【拡充】等
- 教科等横断的な学びの推進
  - 教科等横断型教育課程の検討・実践【新規】等
- 医師確保対策の推進
  - 特設WEBサイトの構築【新規】等
- 保育士の確保・定着と保育の質の向上に向けた総合的取り組みの推進
  - 奨学金返済支援制度の創設【新規】等
- 放課後児童クラブの充実
  - 保育士養成校へのアプローチ【新規】等



新型コロナウイルス感染症の拡大防止

新型コロナウイルス感染症対策.....1,371億8,479.8万円

- 新型コロナウイルス感染症への対応
  - 高齢者支援型臨時施設の確保・運営【拡充】等
- 新型コロナウイルスワクチン接種の推進
  - ワクチンバスの活用【新規】等
- 福祉施設における感染拡大防止対策への支援等の実施
  - 介護施設等における感染拡大防止対策事業費/放課後児童クラブ等に係る新型コロナウイルス感染症対策事業/新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス継続支援事業/高齢者施設リリーフ事業/感染者り患者ケア支援対策事業 他



「日本一暮らしやすい埼玉」実現への加速 《一部抜粋》

- 防災関連公共事業の推進.....124億8,364.7万円
  - ◆埼玉版流域治水対策の継続と深化
  - ◆ドローンを活用した道路法面点検の実施 等
- 交通安全対策の推進.....29億5,591.2万円
  - ◆通学路グリーンスポットの整備
  - ◆歩道や自転車通行空間の整備
  - ◆歩車分離式信号機の整備 等
- 子育て支援の充実.....24億3,013.6万円
  - ◆安心して出産・子育てのできる相談支援と経済的支援の一体的実施
  - ◆様々な子育て家庭のニーズに対応する支援 等
- 多様なニーズに応じた教育の推進.....26億5,463万円
  - ◆いじめ・不登校等に対応するスクールカウンセラーの拡充
  - ◆特別支援学校の整備 等



- 生涯を通じた健康の確保.....3億6,374.7万円
  - ◆民間アプリを活用した新たな健康増進事業の導入 等
- 障害児・者の自立・生活支援.....1億6,104万円
  - ◆医療的ケア児等支援体制の構築
  - ◆パーキング・パーミット制度の導入 等
- 県内中小企業等に対する支援.....111億8,138.5万円
  - ◆資金繰りへの支援
  - ◆埼玉県中小企業制度融資総融資枠3,600億円の確保/ゼロゼロ融資の借換需要に対応
  - ◆事業再構築に向けた支援 等
- 県産木材の利用拡大.....1億496万円
  - ◆県産木材を利用した民間住宅の拡大
  - ◆供給・流通体制の構築 等

